

令和6年度

シ ラ バ ス

SYLLABUS

理学療法学科3年生



健祥会学園
KENSHOKAI GAKUEN

目 次

カリキュラム

専門分野(理学療法学科)

理学療法マネジメント論.....	1
理学療法臨床教育論.....	2
臨床理学療法学演習Ⅱ.....	3
臨床理学療法学特論.....	5
臨床総合実習.....	6

專 門 分 野

理学療法学科

【科目名】理学療法マネジメント論

【教員名】松浦 康

【教員の実務経験】 有(理学療法士として実務経験を有する教員が、理学療法に必要な医療的内容に関する講義を行う。)

無

【授業方法】 講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科・3年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(15時間)

【授業概要と目的】より質の高い理学療法を提供するため、保健、医療、福祉に関する制度の理解、組織運営に関するマネジメント能力が必要となる。また各機関における理学療法の流れや役割について理解する必要がある。本科目の主目的は理学療法業務の遂行能力を養い、理学療法の質を向上させる事である。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 理学療法士の各機関における理学療法の流れや役割について説明できる。
2. 各機関における理学療法を遂行することができる。

【教科書】なし

【参考書等】

山崎裕司, 山本淳一編集:リハビリテーション効果を最大限に引き出すコツ 第2版. 三輪書店, 2012.
奈良勲編著:理学療法管理学. 医歯薬出版, 2018.

【成績評価】 定期試験 小テスト 課題レポート(100%) その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	理学療法管理	理学療法管理について理解を深める。	松浦 康
2	理学療法管理	ヒト、モノ、情報、自己の管理について理解を深める。	〃
3	理学療法管理	各疾患のリスク管理について理解を深める。	〃
4	理学療法管理	各疾患のリスク管理、院内リスクについて理解を深める。	〃
5	患者教育	運動学習と患者教育	〃
6	患者教育	運動療法と患者教育	〃
7	組織運営とマネジメント	病院組織と管理、医療安全管理について理解を深める。	〃
8	まとめ	理学療法遂行機能について理解を深める。	〃

【授業時間外の学習】事前に資料を配付することがあるため、資料に目を通しておくこと。授業後はその日に復習を行い、講義で出てきた医療専門用語を確認するとともに内容について自分なりに配付資料あるいはノートに整理しておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習に1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】毎木曜日 17時から17時30分(本館事務室前)

【科目名】理学療法臨床教育論

【教員名】森下 照大

【教員の實務経験】有(医療現場および教育機関で理学療法士として実務経験を有する教員が、理学療法に必要な教育の内容に関する講義を行う。)

無

【授業方法】講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科・3年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(15時間)

【授業概要と目的】理学療法士にとって必要な自身および他者への様々な教育内容や教育方法について理解する。

【到達目標】

1. 理学療法士に必要な教育内容について説明できる。
2. 理学療法士に必要な教育方法について説明できる。

【教科書】なし 適宜資料配付

【参考書等】なし

【成績評価】定期試験 小テスト 課題レポート(100%) その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	理学療法教育	理学療法教育とは	森下 照大
2	〃	理学療法教育の流れ	〃
3	〃	理学療法教育の範囲	〃
4	〃	理学療法臨床教育 ①	〃
5	〃	理学療法臨床教育 ②	〃
6	〃	理学療法臨床教育 ③	〃
7	〃	理学療法臨床教育 ④	〃
8	〃	患者・家族 その他の教育	〃

【授業時間外の学習】事前に資料を配付することがあるため、資料に目を通しておくこと。授業後はその日に復習を行い、講義で出てきた専門用語を確認するとともに内容について自分なりに配付資料あるいはノートに整理しておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習に1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】毎水曜日 17時から17時30分(本館事務室前)

【科目名】臨床理学療法学演習Ⅱ

【教員名】森下 照大、松浦 康、池住 祐哉、北田 功、藤井 奈美、板東 正記

【教員の実務経験】 有(理学療法士として実務経験のある教員が、臨床技能に必要な講義を行う。) 無

【授業方法】 講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科・3年・後期

【必／選・単位数(時間数)】必修・2単位(60時間)

【授業概要と目的】学内および臨床実習で学んだ知識と技術をもとに、さまざまな理学療法分野の実践力を養う。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 各理学療法分野の概要を理解する。
2. 各理学療法分野における理学療法を順序立てて説明できる。

【教科書】なし 適宜資料配付

【参考書等】石川齊[ほか]編：図解 理学療法技術ガイド 第4版. 文光堂, 2014. (eBook)

【成績評価】 定期試験 小テスト 課題レポート(100%) その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	神経系障害理学療法	神経系障害理学療法	板東 正記
2	〃	〃	〃
3	〃	〃	〃
4	〃	〃	〃
5	〃	〃	〃
6	日常生活活動	日常生活活動	藤井 奈美
7	〃	〃	〃
8	〃	〃	〃
9	〃	〃	〃
10	〃	〃	〃
11	運動器障害理学療法	運動器障害理学療法	北田 功
12	〃	〃	〃
13	〃	〃	〃
14	〃	〃	〃
15	〃	〃	〃
16	物理療法	物理療法	池住 祐哉
17	〃	〃	〃
18	〃	〃	〃

19	〃	〃	池住 祐哉
20	〃	〃	〃
21	理学療法評価	理学療法評価	松浦 康
22	〃	〃	〃
23	〃	〃	〃
24	〃	〃	〃
25	〃	〃	〃
26	内部障害系理学療法	内部障害系理学療法	森下 照大
27	〃	〃	〃
28	〃	〃	〃
29	〃	〃	〃
30	〃	〃	〃

【授業時間外の学習】 事前に資料を配付・配信することがあるため、資料に目を通しておくこと。授業後はその日に復習を行い、講義で出てきた医療専門用語を確認するとともに内容について自分なりに配付資料あるいはノートに整理しておくこと。十分な理解を得るためには予習・復習に1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】 講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢（私語や受講態度）については厳しく指導する。疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】 水曜日 17時から17時30分(本館事務室前)

【科目名】臨床理学療法学特論

【教員名】吉尾 雅春、小柳 磨毅、神沢 信行、板東 正記

【教員の実務経験】■有(臨床の理学療法士(吉尾・神沢)ならびに理学療法士として実務経験のある教員(小柳・板東)が、臨床に必要な知識および技術について講義を行う。)
□無

【授業方法】■講義 ■演習 ■実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科・3年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】各疾患に対する理学療法評価や治療についての知識や技術を深め、臨床応用出来るような力を養う。

【到達目標】学生は理学療法士にとって臨床で求められる各疾患に対する知識や技術の重要性を理解できる。

【教科書】資料配付

【参考書等】なし

【成績評価】□定期試験 □小テスト ■課題レポート(100%) □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	脳卒中の理学療法	脳卒中の理学療法について学ぶ	吉尾 雅春
2	〃	〃	〃
3	〃	〃	〃
4	〃	〃	〃
5	スポーツ損傷の理学療法	スポーツ損傷の理学療法について学ぶ	小柳 磨毅
6	〃	〃	〃
7	〃	〃	〃
8	〃	〃	〃
9	評価技術	各種疾患別評価についてⅠ	板東 正記
10	〃	各種疾患別評価についてⅡ	〃
11	〃	各種疾患別評価についてⅢ	〃
12	治療技術	各種疾患別治療についてⅠ	神沢 信行
13	〃	各種疾患別治療についてⅡ	〃
14	〃	各種疾患別治療についてⅢ	〃
15	〃	各種疾患別治療についてⅢ	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語を確認するとともに内容をノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず配付資料を持参すること。疑問点があれば積極的に質問すること。スポーツ損傷の理学療法では実習を行うため、Tシャツ、短パンを用意すること。

【オフィスアワー】板東：毎月曜日 17時から17時30分(本館事務室前)

【科目名】臨床総合実習

【教員名】臨床実習指導者

【教員の実務経験】 ■有(臨床実習指導者(理学療法士)が理学療法士に必要な知識および技術について指導を行う。)

□無

【授業方法】 □講義 □演習 ■実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科・3年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・17単位(765時間)

【授業概要と目的】臨床実習期間は1期、2期ともに8～9週間実施する。各臨床実習施設において、実習指導者(理学療法士)のもとで評価、治療、記録、管理的な場面を経験し、学内で習得した理論と技術を応用し、問題点の提示とその解決手段を学び、将来理学療法士として患者に接する際に必要な基本的知識・技術・態度を身につける。なお実習形態は臨床参加型とし、実習前後には学生の到達度を確認する学内実習も実施する。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 臨床場面において臨床実習指導者のもと、実際の症例を担当することにより学校で学んだ基本的な知識や技術を統合し、理学療法の一連の流れを経験する。
2. 診療場面での患者の評価の実際を学び、その内容を統合解釈し問題点を見出し、治療プログラムを立案する。また臨床実習指導者のもと、そのプログラムを実施できる。
3. 評価・治療の実施に基づき、治療プログラムの確認・修正ができる。

【教科書】実習の手引き

【参考書等】なし

【成績評価】 □定期試験 ■実習課題(10%) ■その他(実習施設評価 60%、学内実習評価 30%)

【授業計画】

実習名	実習期間
臨床総合実習	令和6年5月～9月中 (1期：40日、2期：40日、学内実習：5日)

【授業時間外の学習】臨床実習指導者(理学療法士)に指導および指示された内容について予習と復習を行う。

【履修条件・注意事項】実習の手引き参照

【オフィスアワー】学校(担任)への電話連絡